

# 地 域 保 健 課



## 地域保健課業務概要

### 1 母子保健事業

母子保健は、市民にとって生涯を通じた健康づくりの出発点であり、きわめて重要な事業である。

このため、母親並びに乳児及び幼児の健康の保持増進を積極的に推進するため、母性教室、妊婦健康相談、乳児健康相談、妊婦・乳児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査等を実施した。

また、近年増えている核家族や地域のつながりが薄れている中で母子を支援するための相談や教育を行なった。

### 2 成人保健事業

人口の高齢化や都市化の進展などに伴って、健康に影響を与える要因は複雑かつ多様化してきており、運動不足や栄養の偏りから糖尿病や高血圧、脂質代謝異常等の生活習慣病が増加するなどの問題が生じている。

生活習慣病の予防は、健康意識の向上や生活習慣の改善、疾病の早期発見、早期治療が必要であり、これらを推進するため、各人の健康づくりの自覚と意識の向上を促すための教育、健康の保持増進のための相談や訪問などを行った。

また、生涯を通じ身近な公園で手軽な運動習慣を身につけられるよう、公園を活用した健康づくり事業をモデル公園3か所において開始した。

### 3 栄養保健事業

乳幼児期からの生活習慣病の予防を促すために、日常の健康管理の重要性と「栄養・運動・休養」のバランスのとれた生活習慣を見直して「自分の健康は自分でつくる」という意識づけを各種事業を通して実施した。

### 4 歯科保健事業

人口の高齢化が進む中で、将来に向けて乳幼児から歯の健康づくり対策を継続的かつ系統的に推進することが必要である。歯の健康を保つためには予防が大切であり、歯科保健に関する正しい知識の普及・啓発を行ない、歯科疾患の早期発見に努め、生涯にわたり自分の歯で食事が出来ることを目的に事業を実施した。

### 5 栄養指導事業

特定給食施設等に対し、栄養管理について個別巡回指導を行うとともに、給食施設設置者・管理者および従事者の資質の向上を図るための研修会を実施した。また、国民の身体状況や栄養摂取量等の状況を明らかにし、国民の健康増進の総合的な推進を図る基礎資料を得るための国民健康・栄養調査等、並びに食品の栄養成分表示等の相談・指導、及び調理師免許、管理栄養士・栄養士免許の交付事務等を行った。

### 6 保健センター管理運營業務

市民の健康を保持・増進するため、市内4か所にある保健センター（中央・東部・北部・西部）において、妊産婦・乳幼児の保健指導、健康診査、健康増進、栄養の改善、歯科保健等を、地域に密着した拠点として保健サービスを総合的に行なった。

## 1. 母子保健事業

### (1) 母子健康手帳の交付

妊娠届出に基づき母子健康手帳を交付し、妊娠・出産から就学までの一貫した健康管理と母性意識の高揚を図っている。

年度	区分	交付数
平成 25 年度		6,105
平成 26 年度		5,928
平成 27 年度		5,797

### (2) 妊婦健康相談

母子健康手帳交付時に妊婦に対し保健師が個別に面接し、妊婦の持つ問題点を把握し、適切な保健指導と関係機関との連携を図るとともに、母子保健制度の活用、異常の早期発見、早期治療、妊娠高血圧症候群の予防、低体重児などの出生防止を図っている。

年度	区分	相談者数
平成 25 年度		4,346
平成 26 年度		4,189
平成 27 年度		4,205

### (3) 母性教室「はじめてママになるための教室」

妊娠、出産、育児についての正しい知識の普及と先輩ママとの交流等により不安の解消を図り、安全な妊娠・出産と健全な育児を促している。また、友達づくりを推進し、妊婦の孤立化防止を図っている。

年度	区分	実施回数	受講者数 (延べ人数)
平成 25 年度		48	1,669
平成 26 年度		48	1,641
平成 27 年度		48	1,498

### (4) 両親学級「パパ・ママ教室」

沐浴実習や妊婦擬似体験、グループワーク等により、夫婦が協力して子育てや家庭づくりが出来るよう、促している。

年度	区分	実施回数	受講者数 (延べ人数)
平成 25 年度		47	2,455
平成 26 年度		48	2,436
平成 27 年度		48	2,341

#### (5) 妊婦健康診査

妊婦一般健康診査受診票14回分を妊婦に交付し、医療機関等で受診する妊婦健康診査の一部を負担し、異常の早期発見や早期治療、正しい知識の普及を図ると共に、安全な妊娠・出産を促している。

年度	区分	総受診者数 (件)
平成25年度		69,162
平成26年度		68,710
平成27年度		66,282

#### (6) 妊産婦・新生児・低体重児訪問指導・こんにちは赤ちゃん事業

生後60日までの乳児のいる全家庭に、看護師や助産師又は保健師が訪問し、育児支援、養育環境の把握、子育て支援情報の提供、適切なサービスを行い、虐待の未然防止を図っている。

年度	区分	妊産婦訪問数	新生児・ 低体重児訪問数	赤ちゃん 訪問数
平成25年度		1,700	3,619	1,655
平成26年度		1,801	3,659	1,254
平成27年度		1,799	3,561	1,340

#### (7) 4か月児健康相談

発育・発達の見極めである生後4か月児に全数相談を行い、育児不安に早期に対応し、虐待の予防や前向きに子育てができるように支援している。

年度	区分	実施回数	相談者数
平成25年度		144	4,572
平成26年度		144	4,603
平成27年度		144	4,607

#### (8) 乳幼児発達相談

出生時2,300グラム未満の児、成長発達に伴う身体機能面に不安のある児に対し、小児科医・整形外科医による療育相談を行っている。

年度	区分	実施回数	相談者数
平成25年度		6	152
平成26年度		6	122
平成27年度		6	95

### (9) 乳児健康診査

乳児一般健康診査受診券を2回分交付し、生後3～6か月、9～11か月の時期の医療機関で受診する健康診査により、異常の早期発見や早期治療、適切な療育を促している。

年度	区分	総受診者数 (件)
平成25年度		10,048
平成26年度		9,817
平成27年度		9,888

### (10) 1歳6か月児健康診査

発達の目安が比較的容易に得られやすい1歳6か月の時期に総合的な健康診査（内科健診は受診票を発行し医療機関にて実施）を行い、異常の早期発見や早期治療を図ると共に、適切な療育を促している。

年度	区分	総受診者数 (郵送含む)
平成25年度		5,384
平成26年度		5,452
平成27年度		5,398

### (11) 親子教室「ひよこ教室」

1歳6か月児健康診査の事後指導教室として実施し、親子又は集団での遊びの体験や保護者への継続指導を通して、親子関係の改善や児の発達を促している。

年度	区分	参加者数
平成25年度		1,657
平成26年度		1,811
平成27年度		1,846

### (12) 3歳児健康診査

身体発育、精神発達の面から特に重要な3歳の時期に総合的な健康診査（内科健診は受診票を発行し医療機関にて実施）を行い、異常の早期発見や早期治療、適切な療育を促している。日曜日健診を年3回実施した。

年度	区分	総受診者数 (郵送含む)
平成25年度		5,428
平成26年度		5,438
平成27年度		5,334

### (13) 保健師による家庭訪問

妊産婦や乳幼児のいる家庭に保健師が訪問し、心配事や不安を解消し、安心して子育てができるよう支援している。（新生児・低体重児訪問の一部を含む）

年度	区分	訪問指導者数 (延べ人数)
平成 25 年度		6,105
平成 26 年度		5,898
平成 27 年度		4,902

### (14) 養育医療

出生時 2,000 グラム以下または医師が未熟児と診断した児が指定医療機関に入院治療する場合の医療の給付を行っている。

年度	区分	新規申請者	給付者	給付件数
平成 25 年度		115	136	652
平成 26 年度		105	116	573
平成 27 年度		106	117	578

### (15) 育成医療

身体に機能障害がある児童が指定医療機関で障害が改善される治療（主に手術）をする場合の医療の給付を行っている。

年度	区分	新規申請者	給付者	給付件数
平成 25 年度		99	139	395
平成 26 年度		89	124	347
平成 27 年度		83	103	269

### (16) 特定不妊治療費助成

特定不妊治療（体外受精及び顕微授精）を受ける夫婦を対象に、その治療に要する費用の一部を助成し、経済的な負担の軽減を図る。

年度	区分	助成件数
平成 25 年度		912
平成 26 年度		887
平成 27 年度		845

### (17) 一般不妊治療費等助成

一般不妊検査及び治療（男性不妊を含む）を受ける夫婦を対象に、その治療に要する費用の一部を助成し、経済的な負担の軽減を図る。

年度	区分	助成件数
平成 27 年度		189

## 2. 成人保健事業

### (1) 健康手帳の交付

自らの健康管理と適切な医療の確保に資するため、健康教育、健康相談等、健康に関する事業を実施する会場や各保健センターで、40歳以上の希望者に活用方法を説明し交付している。

年度	区分	交付数	年齢別区分		
			40～64 歳	65～69 歳	70 歳以上
平成 25 年度		1,275	232	212	831
平成 26 年度		988	168	169	651
平成 27 年度		787	86	109	592

### (2) 糖尿病教室

糖尿病は、日常生活と食生活の改善が大切であり、健康増進、疾病の予防、合併症の予防を図るため実施する。

年度	区分	実施回数	受講者数 (延べ人数)
平成 25 年度		9	134
平成 26 年度		9	172
平成 27 年度		9	175

### (3) 健康講座

生涯にわたる健康づくりを多角的にとらえ、各方面から健康を見直すための講座を実施する。

年度	区分	実施回数	受講者数 (延べ人数)
平成 25 年度		4	79
平成 26 年度		4	52
平成 27 年度		5	67

#### (4) 運動教室

適度な運動を習慣化することにより、生活習慣病の予防と改善を促し、運動習慣定着のきっかけづくりとして実施する。

年度	区分	実施回数	受講者数 (延べ人数)
平成 25 年度		96	1,694
平成 26 年度		102	1,775
平成 27 年度		104	1,851

#### (5) 地区健康教育

健康づくりや生活習慣病予防など、地区住民の要望を取り入れて、町会・自治会、公民館などの協力を得ながら実施している。

年度	区分	実施回数	受講者数 (延べ人数)
平成 25 年度		372	11,325
平成 26 年度		393	12,032
平成 27 年度		416	11,995

#### (6) 成人健康相談

生活習慣病や健康づくりなど、健康全般について個別に相談を行う。保健センターのほか、各公民館、自治会館、集会所などで定期的実施しているものもある。(40歳未満も含む)

年度	区分	実施回数	受講者数 (延べ人数)
平成 25 年度		608	8,705
平成 26 年度		674	8,755
平成 27 年度		639	8,268

#### (7) 骨密度測定と骨粗しょう症相談

超音波骨密度測定器により骨密度を測定し、骨粗しょう症予防のための日常生活の改善を促し、健康づくりの推進を図っている。(40歳未満も含む)

年度	区分	実施回数	受講者数 (延べ人数)
平成 25 年度		124	3,266
平成 26 年度		124	3,472
平成 27 年度		125	3,224

### (8) 保健師による家庭訪問

訪問指導を必要とする家庭に訪問し、健康の保持増進、疾病の予防、早期発見、正しい療養の仕方など対象に合わせた保健指導を実施している。

年度	区分	訪問指導者数 (延べ人数)
平成 25 年度		521
平成 26 年度		653
平成 27 年度		561

### (9) 公園を活用した健康づくり事業

市民が身近な公園で手軽に出来る運動習慣を身につけ、自主的な健康づくりが推進されるよう自治会及び市民団体等の協力により実施した。

年度	区分	実施回数	参加者数 (延べ人数)
平成 27 年度		52	2,794

### (10) 歯周疾患検診

歯を失う大きな原因となっている歯周疾患の予防と早期発見を推進するために健康増進法による40歳・50歳・60歳・70歳に節目検診を実施している。

年度	区分	対象者数	受診者数	受診率	異常なし	要指導	要精密・ 要治療
平成 25 年度		34,518	2,539	7.4	137	125	2,277
平成 26 年度		33,541	2,552	7.6	145	128	2,279
平成 27 年度		31,238	2,239	7.2	135	86	2,018

## 3. 栄養保健事業

### (1) 母子栄養保健事業

生涯を通して健康的に過ごすためには、乳幼児期からの生活習慣の基礎づくりが大切であり、その中でも規則正しい食習慣の確立が重要である。

母性教室（はじめてママになる教室）において、母体の健康保持と胎児の順調な発育を促すための適切な食生活のすすめと、家族を支えていくという意識づけを行う。

また、4か月児健康相談や1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査・健康教育などを通して、規則正しい食習慣の基礎づくりのための栄養相談や栄養指導を行っている。

さらに、継続した支援を行なうために個別に家庭訪問等による栄養指導を実施している。

区分 \ 年度	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
母性教室	48	821	48	790	48	720
4 か月 児健康相談	144	3,139	144	3,161	144	3072
1 歳 6 か月 児健康診査	87	975	87	1,119	87	1,166
3 歳 児健康診査	75	408	75	479	75	478
地区健康教育	58	2,356	61	2,442	54	2,424
地区栄養相談	60	661	64	673	53	623
訪問栄養指導 (面接等含む)	—	305	—	331	—	316

## (2) 成人栄養保健事業

健康的な生活習慣を確立するために、健康教育や健康相談などの各事業を通して、健康の保持増進及び生活習慣病の予防を促すために栄養指導を行っている。

また、保健事業の参加者が必要な方には家庭を訪問し、栄養状態を把握した上で、食生活の改善と疾病の予防を図るために、継続的な栄養指導を行っている。

区分 \ 年度	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
糖尿病教室	9	134	9	172	9	175
地区健康教育	64	1,994	61	1,653	78	1,932
なんでも食事 相談	48	116	41	143	42	137
成人栄養相談	31	467	29	496	33	487
訪問栄養指導 (面接等含む)	—	127	—	94	—	124

## (3) 食育推進事業

乳幼児期から食べることの意義や一人ひとりが自分自身で健康を守ることを理解し、豊かな食生活を営むことができる能力を育てることにより、規則正しい食生活の確立と共に心の健全な育成を図っている。

区分	年度	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
		回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
食育講座		54	843	54	782	62	733
食育ミニ講座		96	4,624	96	4,512	96	4,546
歯みがキッズ教室		4	419	4	649	4	487
ヘルシーフェア等		8	1,283	8	884	10	1,298

#### (4) 食生活改善事業

栄養・運動・休養のバランスのとれた生活習慣を身につけた上で、地域の中で活動する食生活サポーターを育成し、行政と協働で地域の食生活改善の啓発活動を実施している。

区分	年度	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
		回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
食生活サポーター養成講座・研修会		45	773	39	626	41	670
食生活サポーターの活動		73	8,438	82	8,015	82	8,093

## 4. 歯科保健事業

### (1) 妊婦歯科健康診査

歯科疾患が重篤しやすい妊娠期に、協力歯科医療機関にて個別歯科健康診査を実施している。

年度	区分	対象者数	受診者数	受診率	異常なし	要指導	要精密・要治療
平成 25 年度		7,442	1,530	20.6	118	62	1,350
平成 26 年度		6,272	1,708	27.2	150	105	1,453
平成 27 年度		6,003	1,649	27.5	150	77	1,422

### (2) 1歳6か月児歯科健康診査

1歳6か月児は、離乳完了後における食習慣の基礎づくりのスタートラインであり、嗜好の傾向が決まる時期でもある。口腔内では乳歯もかなり萌出し、むし歯にかかりはじめる時期であるため、口腔内異常の早期発見、予防の指導及び相談を実施している。

年度	区分	実施回数	受診者数	むし歯のある者の割合 (%)
平成 25 年度		87	5,065	1.0
平成 26 年度		87	5,129	1.0
平成 27 年度		87	5,093	0.9

### (3) 幼児歯科指導（ビーバー教室）

1歳から2歳までの幼児を対象に、むし歯予防の相談を実施し、併せて保護者に対しても歯科指導を実施している。

年度	区分	実施回数	参加者数 (幼児)	参加者数 (保護者)
平成 25 年度		82	480	490
平成 26 年度		83	453	470
平成 27 年度		84	412	426

### (4) 2歳6か月児歯科健康診査

2歳6か月児を対象に歯科健康診査、相談及びフッ化物歯面塗布（希望者）を実施し、併せて保護者に対しても歯科指導を実施している。

年度	区分	実施回数	受診者数	むし歯のある者の割合 (%)	参加者数 (保護者)
平成 25 年度		84	4,073	4.2	4,258
平成 26 年度		84	3,987	3.8	4,143
平成 27 年度		84	3,970	4.2	4,137

### (5) 3歳児歯科健康診査

3歳児は乳歯列が完成し、食事や間食の選択も自己主張できるようになり、乳歯のむし歯の急増期にあたる。また、1人あたりのむし歯の本数も多くなることから、むし歯の有無と同時に、要注意の歯や指しゃぶり等による咬合異常の発見、予防の指導及び相談を実施すると共に、併せて保護者の口腔内観察も希望者に実施している。

年度	区分	実施回数	受診者数	むし歯のある者の割合 (%)	参加者数 (保護者)
平成 25 年度		75	5,089	12.1	1,243
平成 26 年度		75	5,115	12.5	1,087
平成 27 年度		75	5,015	11.5	1,169

### (6) 歯みがキッズ教室

各保健センターにおいて、夏休みの期間を利用して3歳から就学前までの幼児を対象に歯科健診及び指導や相談を行うとともに、フッ化物歯面塗布（希望者）を実施する。併せて保護者に対しても歯科健診及び指導を行い、口腔疾患の予防啓発を推進している。

年度 \ 区分	実施回数	参加者数 (幼児)	参加者数 (保護者)
平成 25 年度	4	208	211
平成 26 年度	4	333	316
平成 27 年度	4	253	237

### (7) 巡回歯科指導

市内の私立保育園・私立幼稚園の園児に歯みがき指導を行うと共に、療育支援課施設（マザーズホーム・親子教室等）に通園している児に歯科健診・歯みがき指導、フッ化物塗布を行なっている。また、特別支援学校の小・中・高等部の児童・生徒に対し、歯みがき指導を行っている。

区分 \ 年度	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
	回数	実施者数	回数	実施者数	回数	実施者数
私立保育園・幼稚園歯科指導	31	1,764	19	1,003	32	1,633
療育支援課施設歯科健診	14	262	14	268	12	200
市立特別支援学校歯科指導	3	92	3	98	3	96

### (8) 歯科衛生士による家庭訪問等

介護保険認定外の在宅虚弱者や幼児等に歯に関する相談・指導を行っている。

年度 \ 区分	指導者数 (面接等含む)
平成 25 年度	468
平成 26 年度	475
平成 27 年度	217

### (9) 母子歯科保健事業

各保健センター、地区において歯の健康づくりの普及啓発を行っている。

区分 \ 年度	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
母性教室	48	821	48	790	48	720
4 か月児健康相談	144	3,139	144	3,161	144	3,072
地区健康教育	55	2,296	57	2,364	58	2,415
地区健康相談	53	470	57	591	55	468
食育講座	54	843	54	782	62	733

### (10) 成人歯科保健事業

各保健センター、地区において歯の健康づくりの普及啓発を行っている。

区分	年度	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
		回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
糖 尿 病 教 室		3	68	3	77	3	76
地 区 健 康 教 育		61	1,481	66	1,405	65	1,418
地 区 健 康 相 談		28	265	29	288	27	269
骨密度測定時歯科相談		17	160	10	103	19	231

### (11) 歯・口の健康啓発事業

生涯にわたり、自分の歯で食事ができるように歯の健康づくりの推進事業を実施している。

区分	年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
高 齢 者 の よ い 歯 コントロール参加数		23	19	24
親 と 子 の よ い 歯 コントロール参加数		34	46	22
歯 ・ 口 の 健 康 啓 発 標 語 作 品 総 数		5,006	5,802	6,301
ヘルシー船橋フェア等 参加数		3,410	3,560	1,773

### (12) フッ化物洗口事業

歯の生え変わりの時期にフッ化物による洗口を集団的、継続的に行うことにより、永久歯の健康の保持増進を図るため市立小学校において実施している。

区分	年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
施 設 数		3	10	14
ク ラ ス 数		12	47	67
フッ化物洗口実施者数		357	1,406	1,926
健康教育・説明会開催回数		10	38	58
参加者数（保護者を含む）		618	2,875	3,336

## 5 栄養指導事業

### (1) 給食施設指導

給食施設における栄養管理の水準の向上を図るため、個別巡回指導を実施するとともに、集団指導では、給食施設管理者及び従事者を対象に研修会を開催した。

#### ①給食施設状況

区分	施設総数	管理栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士どちらもある施設			栄養士のみいる施設		管理栄養士・栄養士どちらもいない施設	管理栄養士必置施設 指定数
		施設数	管理栄養士数	施設数	管理栄養士数	栄養士数	施設数	栄養士数		
平成25年度	293	88	102	49	96	89	105	129	51	7
平成26年度	298	94	111	52	103	81	102	123	50	7
平成27年度	299	95	104	49	103	75	100	128	55	9

#### ②給食施設指導状況

区分	年度	個別指導		集団指導	
		巡回指導施設数	その他指導施設数	回数	参加延べ施設数
	平成25年度	132	83	2	280
	平成26年度	127	427	2	301
	平成27年度	129	463	2	223

※ その他指導施設数：電話相談等（延べ数）

### (2) 健康づくり公開講座

市民が食生活や運動、休養、禁煙などの生活習慣の改善に加え、日常生活で取り組むことが出来る健康づくりのヒントを得る学習の機会として開催した。

開催月日	内容	参加人数	備考
平成27年 9月1日	講演「健康寿命の延ばし方」 講師：東京都健康長寿医療センター研究所 高齢者健康増進事業支援室長 大淵修一	134人	共催※

※ 船橋市栄養士会・船橋市保健所管内集団給食協議会と共催

### (3) 国民健康・栄養調査等事業

国民(県民)の身体状況や栄養摂取量等の状況を明らかにし、国民の健康増進の総合的な推進を図る基礎資料を得るため、健康増進法に基づき国民健康・栄養調査等を実施した。

#### ①国民健康・栄養調査

年度 \ 区分	地区数	実施世帯数	実施人数
平成 25 年度	1	10	16
平成 26 年度	1	9	26
平成 27 年度	1	10	30

#### ②県民健康・栄養調査

年度 \ 区分	地区数	実施世帯数	実施人数
平成 27 年度	1 (1)	10 (10)	30 (30)

( ) 内は国民健康・栄養調査実施の再掲

#### ③乳幼児栄養調査

年度 \ 区分	地区数	実施人数
平成 27 年度	6	49

### (4) 健康ちば協力店推進事業

メニューの栄養成分表示、健康・栄養情報の提供、ヘルシーオーダーへの対応やたばこ対策などに取り組む飲食店等を「健康ちば協力店」として登録し、市民が外食等においても主体的に健康づくりに取り組めるよう食環境の整備を図る。(事業主体は千葉県)

区分	協力店登録数
平成 25 年度	64 店
平成 26 年度	64 店
平成 27 年度	69 店

### (5) 食品の表示に関する指導

地域住民が自らの健康を考えた食品や料理等を選択出来るよう、関連企業・食品営業者等に対して、食品の栄養成分表示等の相談・指導を行った。

指導内容 \ 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	栄養表示基準について	9 件	11 件
虚偽誇大広告について	2 件	1 件	9 件
食品表示 (保健事項)			14 件

## (6) 調理師法関係業務

千葉県知事免許である調理師免許交付のための事務を行うと共に、千葉県が実施する調理師試験の施行に併せて受験案内を配布し、願書の受付を行った。

区分	免許交付（件）			調理師試験		
	新規交付	書換交付	再交付	受験者数	合格者数	合格率(%)
平成 25 年度	154	27	31	140	61	43.6
平成 26 年度	161	30	35	131	71	54.2
平成 27 年度	154	26	41	111	49	44.1

## (7) 免許申請

職種	年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	新規
管理栄養士		54	62	79	49
栄養士		102	110	114	82

## 6. 保健センター管理運営業務

### (1) 設置目的

市民の健康づくりを推進するためには、保健・医療体制の充実が社会生活を営む上で欠かすことの出来ない最も基本となるものである。

少子高齢化、核家族化の進展、疾病構造の変化に伴い、保健予防に対する住民ニーズは多様化している。

市民の健康を保持・増進するため、地域に密着した健康相談、健康教育、健康診査等の保健サービスを総合的に行う拠点としている。

### (2) 施設の概要

保健衛生思想の普及を図るため、栄養の改善、健康増進、妊産婦・乳幼児の保健指導、健康診査、歯科予防、その他の疾病の予防等対人保健サービスを総合的に行なっている。